

きもの豆知識

6月と9月の単衣のコーディネートの違い

1年通して使えるコーディネートが便利でよいのですが、着物の楽しみはその季節その季節でしかできないコーディネートをする事。今回は6月と9月の単衣でコーディネートを見てみましょう。



6月のコーディネート

6月の単衣は全体的に涼しげな色を選ぶことで、見るものに涼しげな印象を与えることができます。小物も縞や夏向きのブルー系の帯締めで、素材感でも涼しさを演出できます。

9月のコーディネート

最近では、まだまだ9月は暑いので涼しげなコーディネートにしたいものですが、6月と比べて帯も重厚な色を選んだり、秋を意識させる色を取り入れることで、6月との違いを出すことができます。



歌舞伎のススメ

～寿曾我対面（ことぶきそがのたいめん）～

6月1日より平成中村座によって名古屋城で公演されている『寿曾我対面（ことぶきそがのたいめん）』。江戸時代の歌舞伎では長年の苦難の末に敵討ちを果たした曾我兄弟の上演することで、悪霊払いをし、1年の平安を祈るという縁起担ぎの意味合いで、この演目は新春に公演されることが多かったようです。

簡単にあらすじを説明すると、場面は正月の工藤祐経（くどうすけつね）の館。主役である曾我兄弟（五郎、十郎）は、工藤祐経（くどうすけつね）に18年前に父親を討たれていました。工藤の館で諸大名が年頭のあいさつに来ている中、小林朝比奈（こばやしあさひな）という大名の手引きで、曾我兄弟は工藤祐経（くどうすけつね）と対面します。

工藤は2人の兄弟に自分が討った河津三郎祐泰（かわづさぶろうすけやす）の面影を見、5月の富士の裾野の巻き狩りの総奉行が終わったら討たれてやろうと再会を約束するお話。この演目の最大の魅力は、座頭（ざがしら）役の工藤、和事（わごと）の十郎、荒事（あらごと）の五郎、立女形（一座の女形おんながたの中での最高位の俳優）、若女形、道化役の小林朝比奈などすべての歌舞伎のキャラクターが勢ぞろいする点。あらすじを知らずにみると少々わかりにくい部分がありますが、錦絵のような華やかな舞台が一番のみどころといえるでしょう。



かわちやの

着付教室 12回

1回1000円

かわちやの着付け教室ではそれぞれの目的やスケジュールにあわせたカリキュラムを組んでいきます。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせは

TEL 0563-35-0039 大橋幸子まで

かわちやの
ワンポイント着付教室

1,000円

半巾帯の結び方など
ピンポイントでお教えます。
(2時間)

竹次郎～ TAKEJIRO CAFE ～ コラム



いよいよ夏が近づいてきました。竹次郎カフェでも6月からかき氷を始める予定です。自家製のシロップと美味しいかき氷を作りたいと思っています。(まだ完成しておりませーん)。時間がありませんが頑張ります。

新コーナー

今月のコーディネート



暑い夏を前にしてエレガントに藍染でまとめてみました。藍染の藍の色が涼しげで、これからの季節のお出掛けにピッタリ。

藍染ブラウス 14,040円 スカート 14,040円
ネックレス 6,480円 帽子 9,720円 カットソー 5,320円

草木染講習会

日時 1回目 7月12日(水)

2回目 8月23日(水)

午前の部 9:30～午後の部 13:00～

会費 1,000円(1回につき)+材料費

柿渋で和紙を染めて オリジナル和小物を作ろう！(2回コース)

用意するもの：厚手の手袋 エプロン

竹かご、うちわ、行灯、紙箱
花瓶など和紙の張れるものをお持ち下さい。



家庭にある古くなったうちわや行灯などをもう一度柿渋染めの和紙をはることで甦ります。柿渋は何度も塗り重ねて自分の好みの色を出すことができます。

イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE

6月22日(木)～26日(月)

藍染の服と夏の和小物、ゆかたを特集します。

7月のお休みのお知らせ

7月4日、5日は連休いたします。